Kralvin

```
L27 ANSWER 32 OF 48 CAPLUS COPYRIGHT 2003 ACS
     1981:516495 CAPLUS Full-text
DN
     95:116495
    Heat stabilizers for halogen-containing resins
TI
    Nakagawa, Takayuki, Japan
PA
     Jpn. Kokai Tokkyo Koho, 4 pp.
     CODEN: JKXXAF
DΤ
     Patent
     Japanese
LΑ
FAN.CNT 1
     PATENT NO.
                     KIND DATE
                                         APPLICATION NO. DATE
PI
PRAI JP 1979-131212
                     ----
                                         -----
                     A2
                         19810516
                                         JP 1979-131212 19791011
                          19791011
AB
      The heat resistance of halogen-containing resins, e.g., PVC [ 9002-86-2], vinyl
      acetate-vinyl chloride copolymer [9003-22-9], and ethylene-vinyl chloride copolymer
      [25037-78-9], is improved by addition of polyglycols, e.g., polyethylene glycol
      [25322-68-3], and ethylene glycol-propylene glycol block copolymer [9003-11-6], and \beta-
      diketones, e.g., acetylacetone [123-54-6], benzoylacetone [93-91-4], and p-
      methoxystearoylacetophenone [60462-06-8].
     9002-86-2
     RL: USES (Uses)
        (heat stabilizers for, polyglycols and diketones as)
     25322-68-3
     RL: MOA (Modifier or additive use); USES (Uses)
       (heat stabilizers, containing diketones, for vinyl
       chloride polymers)
```

(3) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

②公開特許公報(A)

昭56-55445

⊕Int. Cl.³ C 08 L 27/00 C 08 K 5/07 //(C 08 L 27/00 71/00) 識別記号 CAB 庁内整理番号 6946-4 J 砂公開 昭和56年(1981)5月16日

発明の数 1 審査請求 未請求

6911-4 J

(全 4 頁)

のハロゲン含有樹脂組成物

@特

願 昭54-131212

20出

窗 昭54(1979)10月11日

@発 明 者 中川孝之

三重県三重郡菰野町大字音羽83 3番地

の出 願 人 中川孝之

三重県三重郡菰野町大字音羽833番地

era tos 1

1. 発明の名称

ハロゲン含有樹脂組成物

2. 特許請求の範囲

ハロゲン含有樹脂にポリグリコールの少なくとも 一種及び一般式ので示される3ージケトン化合物を 添加してなることを特徴とする安定化されたハロゲ ン含有樹脂組成物。

(式中、 R. 及びR. は、アルキル、フリール、アルキル フリール基を示し、 R. は水岩原子、又は一CO-R。 を示す。 R. はアルキルスはブリール茲を示す。)

3. 発明の詳細な説明

本発明は安定化されたハロゲン含有樹脂組成物に関する。更に本発明は新規の安定剤組成物を含有する安定なハロゲン含有樹脂組成物に関するものであり、ハロゲン含有樹脂に対し、ポリグリコールの少なくとも一種及びタージケトン化合物を添加してなる安定化されたハロゲン含有樹脂組成物に関するものである。

一般にハロゲン含有樹脂はその使用目的に応じて カレンダー加工、押出し加工などの熱成形加工を行 なう、この際に主として鋭ハロゲン化水素に起因す る熱分解を起しやすく、このため加工製品の機械的 性質の劣化、色質の悪化を生じ樹脂本来の特性が低 下する。従ってこれを防止して安定化する目的で従 来から種々の金属塩安定剤を主体とする安定化剤を 添加配合することによってハロゲン含有樹脂を安定 化してきた。

そして従来の金属安定剤は、カドミウム・パリウム ム又はカドミウム - 鉛 - パリウムなどの組合せに有 銀亜リン酸エステル、フェノール系化合物、エポキ

(1)

16開始56- 55445(2)

ン化合物などを併用派加してハロゲン含有樹脂組成物の安定化を試みているが、カドミツムや鉛素の金属安定剤は毒性が強く、現在ではその使用は大きる 制限されている。従ってこのカドミウムや鉛系の金属安定剤を使用せずに金属石庫又は非金属安定剤等を用いてハロゲン含有樹脂の無劣化を防止し安定化しなければならない。

· · · · ·

しかし、とのような方法では、ある程度の熱安定性は得られるが、カドミウムや鉛系の会議安定剤を 用いた場合化比べて熱安定性は満足すべきものでは ない。

本発明者はこの医療性又は無難性安定制備収物における前述の欠点を解決すべく投資研究した結果、 熱による劣化に対して考れた安定性を有するハログン含有樹脂組成物を開発することに成功したもので ある。

すなわち本発明はハロダン含有樹脂にポリグリコールの少なくとも一種及び一般式(1)で示される&-ジケトン化合物を添加してなるととを特殊とする安定化されたハロダン含有樹脂組成物に関するもので

ピーメトキシステアロイルアセトフェノン、トリベングイルメタン、ステアロイルアセトン等が挙げられる。

本発明の前記各成分の添加をはハロゲン会有関胎100 事無部に対してポリグリコールの量は 0.01~8.0 低級部、針ましくは 0.05~1.0 重量部が適当である。 又メージケトン化合物の量は 0.005~3.0 重量部、纤ましくは 0.01~1.0 重量部が適当である。

又本発明の組成物に対して、金属石融製の併用が可能である。この場合の金属成分の例としてはLi、Na、K、Ca、Ba、2n 等があり、 有機酸残器としてはカルボン散及びフェノール残器がある。

本発明に使用される会ハログン側筋にはポリ鬼化 ビニール、塩化ビニル一酢酸ビニル共重合体、塩化 ビニルーエチレン共産合体及びポリ塩化ビニルと共

ある。

(上式中R: 及びR: はアルキル、フリール、アルキルア リール、蓋を示し、R:は水葉原子、又はCO-R:を 示す。R:はアルキル又はアリール基を示す。)

本発明を更に詳しく説明する。本発明で用いられるポリグリコールとしては、ポリエチレングリコール(以下PRGと称す。) ポリプロピレングリコール (以下PPOと称す。) ポリエチレングリコールとポリブロピレングリコールのプロックポリマー等が挙げられる。これらポリグリコールの異ましい分子量は400~40,000 好ましくは2000~2000 である。何知

制記一般式中で示される代表的なタージットン化合物としては、アセチルアセトン、ペンダイルアセトフェン、ジベンダイルメタン、ステアロイルアセトフェノン、パルミトイルアセトフェノン、ラウロイルアセトフェノン、14 ージフェニルブタン 14 - ジオントルオイルアセトン 19時代

重合体、例えばアクリロニトリルーブタジェンース チレン共置合体、アクリロニトリルーブタジェン汽 置合体、エチレン一酢酸ビニル共気合体などの配合 品がある。

次に本発明を実施例によって具体的に説明するが 本発明はその受賞を超えない限り以下の実施例に翻 約されるものではない。

実施例 (1~18)

本契明による安定別采の効果をみるために、次の配合物をカレンダー加工して厚さ1mのシートを作成し このシートから15×15m寸法の試験片を切り取り190 このギャーオーブンテストを行った。無劣化の変化を ロビボント比的計を用いて調べた。その結果を表ー2 に示す。

〔配 合〕

ポリ塩	化ピニル	樹脂	1,000	q
ステフ	リン酸カ	ルシウム	5	9
297	リン酸亜	黔	4	ø
ジオク	チルフタ	v - 1	500	q
工术车	シ 化 大 豆	神	25	ę
		(8)		

(3)

安定化助剂(表一1)

- I

没施例	安定化助剂
1	# # h
2	PEG (平均分子量 10000) 109
4	PPG(平均分子数 4000) 10 #
•	ペンプイルアセトン 19
6	スナプロイル アセトフェイン 19
6 -	PEG(ず内分子量 10,000) 5ま+ペンソイルテセトン 0.5ま PEG
1	PEO(*) 10 f + < > 1 f
8	PEG(") 50 F + " > 7 (AT + 1 > 5 F
•	PRO(平均分子量 2000) 10 f トペンゾイルアセトン 1.9
10	PEG(平均分子員 10,000) 10 9 + ジベンゾイルノタン 19
11	PEO(") 10 F + ** 7 TO 4 N T + 1 9
12	PEG(") 10 9 + F 9 4274 A1 92 1 9
18	PEO(") 14 f + P-/) + 4 y 3 f T D 1 f
14	PEG: ") 109 + 1 x 24 x 7 x 1 9
15	PPG(平均分子量 4,000) 10 9 +ペンプイルアセトン 1 9
16	PPO(平均分子量 2000) 10 F+ ステアロイルアセト フェイン 1 F
17	PRG. PPOプロッタポリマー(PEG70メ 平均分子量 5.000)
18	10 月 + ペンゾイルアセトン 1 月 PEO. PPGブロックボリマー(デEG40 8 平均分子量4860)
	10 チャベンゾイルアセトン 1 デ

(1)

(化合)

ポリ塩化ビニル樹脂	1.000 9
ステアリン酸 カルシウム	5 9
ステアリン酸亜鉛	5 9
トリスノニルフェニルホスファイト	10 9
エポキン化大豆油	20 🕫
安定化助剤(表一3)	

- 8

尖雕的	安定化助州
19	я б р
20	PEU(半等分子集 20,000) 10 9
2)	2570(~7e17=/> 15
22	PEU(ギョ分子は 20000) 10 ま+ ペンソイルアモトン 1 ま
23.	PEG(") 10 8+ 257 U(WT t) 19
21	PEG(") 10#+ FQ~274N/92 19
25	PPG(早時分子院 6,000) 10 タナ ベンゾイルアセトン 1 タ
25	PEO. PPOブロックポリマー(PDO)80 ま 半時分子被 8,000)
L	108+42/447612 18

- 1

***	X分後のコラーインデッタス (GNa)						
***	和知识在	\$ 9	15 13	30 £	60 #	120 分	
1	6	7	10	18	15	品色	
2	4	6		11	18	1.6	
1	4	•	9	11	14	1.5	
4		4	•	6	11	13	
5	z		5	6	10	12	
6	1.6	2	8.5	. 6	8	10.5	
T		2		6	7	9.6	
8	1	15	2	4	•		
9		2		6	,	30	
10	1 1	2		5	,	10	
11		15	2.5	4	1	•	
12	1	2	2	5	-1	10	
18	1	2		2.6		10	
14	1	2	3.5	5.5	1	10	
15	1	2		•	•	•	
16	ı	2.		5	,	10	
17	ı	2	3.6	6		1 0.5	
18	i	2	8	. 6	7	10	

実施例 19~26

次の配合で実施例 1~18 と同様に試験を実施した。 得られた結果を表一4 に示す。

. R-1

突走例	X分後のコラーインデッタス (ON◆)						
	初期著色	E 3	-15 S 7	30 分	60 #	120 分	
19	5	;	9	12	1.5	庭色	
20	•	6	8	11	1.9	15	
21	2.5	4	6	6	1 2	14	
22	1.5	i	5	7	8	10	
23	1	2 .	8	5	7	9	
24	1.5	2		6	7	1.0	
25	1.5	2 j	3.5	5	,	1 0.5	
25	1 1	2	8	5	8	13	

灾拖例 27~

次の配合で実施費:~18 と同様に試験を実施した。 得られた結果を表一6 に示す。

(配合)

ポリ塩化ビニル樹脂	800 #
塩素化ポリエチレン	270 9
アジピン歌ジオクチル	320 🗸
ステアリン職 ローブチル	15 🗲
ステアリン量 カルシウム	6 9
ステアリン産亜鉛	5 9
民族カルシウム	10 🕫
安定化助磷(表一6)	

191

9 - 5

火集例		*	æ	Ł	D	A.	
2	A 6	žn					
28	PEG (#	均分子數	4,500)	10 7			
29	9904	レナセトフ	ェノン	1 7			
30	PE0 (4	均分子贷	4,000)	10 7	ペンソ	イルアセトン	159
31	PEO (•)	12 # 4	500	イルアセトフェノン	1 9
32	PEG(~)	12 #	+ + 9 ~	2/1 4792	2 9
33	P&0. 1	アロブロ	9 # 9 7	- (FI	2025 X	・ 平均分子量 M イルアセトン	18 9

- - 4

実案例	X分板のカラーインデッタス (GNa)					
	初期者已	5 3	15 分	39 g	60 £	120 //
27	5	7		12	15	# E
28		6	8	11	13	15
29	2	4	6	9	11	1 6
30	, ,	2	4	7	9	12
31	1	2		•	8	10
32	i.5	2	4	•	9	11
33	,	2	8.5	6	8	11

00